

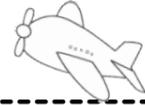
# 夏のおてがみ

## 紙ひこうきクラフトスクール

レベル1はじめて編

クリストファー・L・ハーボ／著

鎌田 歩／絵 ほるぷ出版



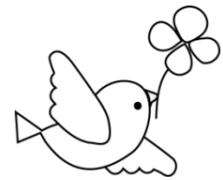
これが紙ひこうきなの？というようなかわったかたちや、どんなふうにとぶのかなと思うような紙ひこうき、ながくとぶもの、なめらかなとぶものなど11しゅるいの紙ひこうきの作り方がのっているよ。作った紙ひこうきでちやくりくテクニクをきそう遊び方もあるんだって。とばしたくなる紙ひこうきがきつとみつかるとよ。

## いえでをしたくなったので

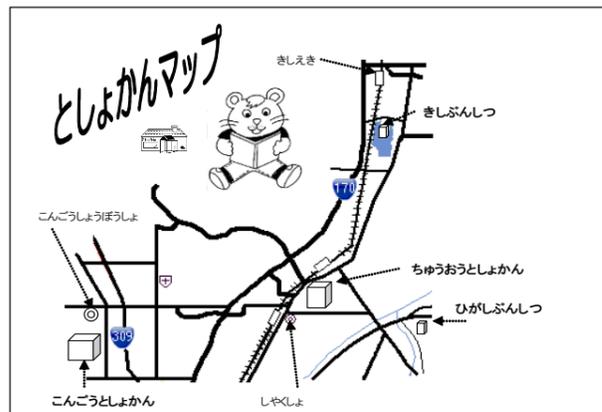
リーゼル・モーク・スコーペン／文

ドリス・バーン／絵

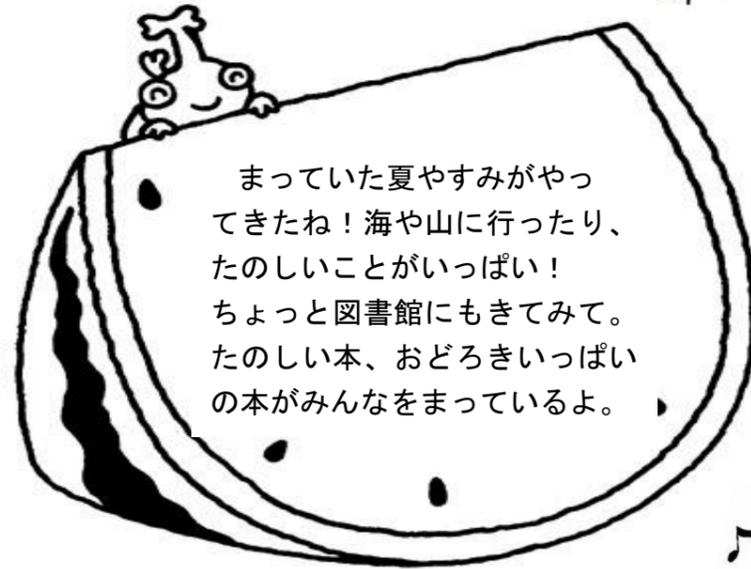
松井 るり子／訳 ほるぷ出版



家の中がぐちゃぐちゃになっているのを見たお父さんとお母さんが、かんかんにおこっています。しかられたきょうだい4人はいえで家出をしたくなりました。セーター、くつした、マフラーにてぶくろ、ふゆぼうし。荷づくりができれば好きなあの場所へひっこしです。お供にねこと犬もいっしょについていくようですよ。



## 3年生\*4年生



まっていた夏やすみがやってきたね！海や山に行ったり、たのしいことがいっぱい！ちょっと図書館にもきてみて。たのしい本、おどろきいっぱいの本がみんなをまっているよ。



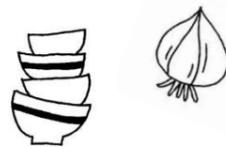
氷は今ではいつでも作ることができますが、冷蔵庫がなかったころは、冬にできた氷を夏までとっておいて使っていました。だから、夏の氷はとともぜいたくなものでした。天然氷はとても固くて透明です。今も100年以上前と同じ場所で、自然の力を助けにして、ゆっくりと手間をかけて作られています。

## のはらキッチンへせひどうぞ

(おしごとのおはなし・コックさん)

まはら 三桃／作

木村 いこ／絵 講談社



〈のはらキッチン〉はさやかな両親がやっている洋食レストラン。月に2度、キッチンカーで近くの病院に出張サービスをしています。さやかはどんな気分の時でも、お父さんの料理を食べると幸せになります。病院での味は「優しくひかえめに」と工夫され、料理を通して人を喜ばせるコックさんの仕事がよくわかる1冊です。



## カミツキガメはわるいやつ？

松沢 陽士／写真・文 フレーベル館

「カミツキガメ」と聞くと、気があらくてすぐカミツク、危険な生き物とってしまいます。ほんとうは、けいかいしんが強く、身の危険を感じたときにだけカミツクおくびょうなカメなのです。カミツキガメは、もともとは日本にはいませんでした。なぜカミツキガメが日本に住みつき、ふえ続けているのでしょうか。その原因は？。



## みんなの防災事典

災害へのそなえから  
避難生活まで

山村 武彦／監修 PHP 研究所

地球は、あらゆる生き物に豊かなめぐみを与えてくれますが、大自然の活動の一部として、いろいろな自然現象も起こしています。そんな地球上で暮らす私たちにできることは、これまでに起こった災害についてよく調べ、危険を予想して準備しておくことです。この本を読んで、自分にできることを考えてみてください。



## こんな家にすんでたら

世界の家の絵本

ジャイルズ・ラロッシュ／作

千葉 茂樹／訳 偕成社

世界にはいろんなめずらしい家があるよ。ごはんを食べに行くときは、いちどそとにでなくちゃいけない家。「ただいま！」のまえに、ハシゴで屋根によじのぼらなきゃならない家。げんかんからボートにのって、そのまま学校にける家もあるんだって。きれいなペーパークラフトで世界の家を紹介しているよ。きみはどの家に住んでみたい？



## ゆうかな猫 ミランダ

エレナー・エステイス／作

エドワード・アーディゾーニ／絵

津森 優子／訳 岩波書店

むかし、ローマのある家に、ミランダという名の猫がすんでいました。ミランダは、16匹の犬を追いはらうほどたくましい親猫です。ある日、蛮族が街に攻めこみ、家をはなれたミランダは、娘猫プンカとすみかをさがします。途中たすけた猫をひきつれ、たどりついたコロッセオに猫の王国をつくりまします。

## 女王さまのぼうし

スティーブ・アントニー／さく  
せな あいこ／やく 評論社

女王さまは、おしろをでてたいせつなひとにあいにでかけます。でも、つよいかぜがふいて、ぼうしがとんでしまいました。ぼうしはロンドンのいろんなところをとんでいきます。女王さまはぼうしをおいかけますが、とどきません。えいへいたちもおいかけますが、とどきません。女王さまは、たいせつなひとにあえるでしょうか。



## ちいろいろつつみ紙のはなし

アリソン・アトリー／作 松野 正子／訳  
殿内 真帆／絵 福音館書店

小さな新聞屋さんにすんでいたちいろいろつつみ紙はクリスマスプレゼントのこづつみになってぼうけんの旅にでます。汽車にのせられはこばれたところはおばあさんの家。そこで三か月すんでいましたが、またプレゼントのこづつみとなって旅にでることになりました。ちいろいろ紙はどこに行くのかな。



## ジンベエザメのはこびかた

松橋 利光／写真 高岡 昌江／著  
宮野 耕治／画 ほるぷ出版

ジンベエザメは海にすむ世界一大きい魚です。大阪の「海遊館」という水族館にもいます。ところでこのジンベエザメは、どうやって水族館まで来たと思いますか？ 5メートルもあるので、かんたんにははこべません。たくさんの人が、きよだいなトレーラーやクレーン車をつかってつれて来たのです。そのようすを見ることが出来ます。



## キリンのセラフィナ

ロラン・ド・ブリュノフ／作  
石津 ちひろ／訳 BL出版



キリンのセラフィナはおんなのこ。あしたは、おばあちゃんのたんじょう日です。セラフィナはともだちといっしょにケーキをやくことにしました。車でざいりょうをかいにいけます。ところが、タイヤがどろの中にうまったり、たいへんなことがつぎつぎにおこります。セラフィナはたんじょう日をおいかわいすることが出来るでしょうか。

